

障害のある子どもが主役になれる拠点 への寄附・協賛



江戸川区福祉部障害者福祉課
上坂かおり



障害のある子どもが主役になれる拠点

区内
5か所目

遊び場
機能

子育て
ひろば
機能

都内初の
ホスピス機能

児童発達
支援セン
ター機能

自然を感
じられる
機能

子ども
ホスピス
機能

ショート
ステイ
機能

設置方法

区有地を活用した
民設民営

設置場所



現鹿本育成室

医療的ケア児や重度心身障害児も安心して利用できる施設の実現

もに、生きる。

江戸川区



この施設の特徴

どんな
重度の障害
があっても
「断らない」
医療体制

保護者やきょ
うだい児も安
心して利用

子どもの
「やってみたい」
を叶える

保護者の
グリーフケア
機能

地域とともに
つくる
インクルーシブ
な場所

民間の支援や協力を形にすることで
すべての区民に
「生きる喜び」「いのちの大切さ」を発信



この施設で主役となる児童



医療技術の進歩により
このような児童が地域で家庭で
多く暮らしています



当事者家族の声

R7 計画策定のためのアンケートより



医療ケアが多数ある為、短期入所先が殆ど無く、親がダウンした際不安です。

でかけるにも色々なデバイスを持ち歩く必要があるので遠いところには行けずにスーパーやお散歩のみで、子どもの経験も乏しくなるし、親もリフレッシュできない

長期休み（夏休み・冬休み）の預け先がないので24時間ずっと一緒でお互い（本人も母も）ストレスがすごくたまってしまう。同年代の子どもとの関りがうすいというか無いのが悩み。

高齢の為毎日の睡眠不足と慢性的な身体の疲労で限界を感じています。今お世話になってる方などに話をしても中々思うように伝わらず、この先の事を考えると毎日不安で一杯です。

ともに、生きる。

江戸川区



区とともにこの取り組みを推進していくパートナー



はるたか



医療法人財団はるたか会

本社:台東区上野

設立:2013年 理事長:前田浩利

拠点:東京・千葉・宮城・静岡

従業員:グループ全体で約250名

患者数:約1,500人以上

日本で最初かつ最大規模の小児在宅医療機関を含み、人工呼吸装着車等も多く対応

0歳から100歳までを「在宅医療」で支える はるたか会

小児から高齢者まで、そして障害を持つ方々の人生の時間、特にご家族と一緒に過ごす時間を「はるたか会」は大切にします。そのために、医師・看護師・リハビリテーションスタッフ・PA（Physician Assistant = 診療アシスタント）・ソーシャルワーカー・そして患者様のもとへ向かう車のドライバーも共同して患者様を支えます。



当法人は開設から20年以上の蓄積を持つ「地域で発生する全ての在宅医療ニーズに応える」あおぞら診療所まつどと、我が国で初めて最大の小児在宅医療機関である「あおぞら診療所うえの」を擁し、現在、宮城県仙台市、静岡県静岡市、東京都世田谷区、千葉県千葉市にクリニックを展開、約1900名以上の患者様に在宅医療を提供しています。



ともに、生きる。

江戸川区



拠点整備スケジュールについて



令和8年度中

基本設計



令和9年3月

現施設(鹿本育成室)閉室



令和9年度中

現施設解体・実施設計



令和10年～

建築整備



令和12年中

竣工



令和13年度

開所



ともに、生きる。

江戸川区



「主役の舞台」を 一緒に作りませんか





様々な支援の形があります

資金での支援

～建築・初期投資～

- ・ネーミングライツ
- ・様々な寄附メニュー
- ・小口寄附 等



現物支援

～最高のショールームに～

- ・建築資材・内装材の提供
- ・ユニバーサルデザイン家具
- ・設備・インフラの提供
- ・消耗品・備品の定期提供
等



人材・スキルでの支援

～エンゲージメント向上に～

- ・専門スキルを活かしたプロボノ
- ・社員のボランティア派遣
- ・お仕事体験プログラム 等



ともに、生きる。

江戸川区

新たな挑戦と一緒にしませんか？

ご関心のある企業の皆様
ご連絡お待ちしております！



【担当】

江戸川区福祉部障害者福祉課障害施設係

03-5662-8072